

小学校・第1学年・生活科・たのしい あき いっぱい①

育成を目指す資質・能力

北九州市提供

秋の自然物を使って作った自分のおもちゃを友達に紹介する活動をするために、ICT機器を含めた表現方法を自分で選んで表現することができる。

ICT活用のポイント

ICT端末や電子黒板を活用し子供同士の対話を活性化させることで、表現力を高めるようにする。

導入：本時のめあてを確認

展開①：作品のスライドを作成

展開②：スライドの交流・修正

まとめ：スライドを基に作品の発表

事例の概要

【展開①について】

- ・自分が作成したおもちゃを、ICT端末のカメラ機能を活用して写真撮影する。
- ・写真データをプレゼンテーションソフトのスライドに取り込み、気付いたことやお気に入りの理由などを書き込む。
- ・電子黒板にICT端末の画面を一覧表示し、進捗状況を把握しながら進める。

【展開②について】

- ・スライドをペアで交流し、友達のアドバイスを基に、スライドに気付き等を書き加える。
- ・「友達によく伝わる」スライド作成の工夫（字の大きさや色など）についての気付きを共有する。



みんなに一番見てもらいたいところに、赤で丸をつけよう。

小学校・第1学年・生活科・たのしい あき いっぱい②

【事例におけるICT活用の場面①】

お気に入りの作品を写真で記録し、気付いたことやお気に入りの理由などを書き込み、スライドを作成する。



秋のおもちゃをカメラで撮っている場面



スライドを作成している様子

【事例におけるICT活用の場面②】

スライドができたところでペアで交流し、気づき等を書き加える。また、電子黒板で提示し、自分のおもちゃを発表する。



児童が電子黒板を使って発表する様子

【活用したICT機器のねらい】

○ICT端末

・ICT端末を用いて表現する方法を知る。自分の伝えたい表現方法を選んでスライドを作成し、友達に紹介できるようにする。

○電子黒板

・活動の様子や発表内容を画面に映し出すことにより、活動への意欲を高める。また、一覧表示によって気づきや工夫などの共有を行う。

【ICTを効果的に活用するためのポイント】

・本実践では、スライド作成が活動の中心となるため、事前にICT端末を使ってお絵かき体験等の活動を十分に行わせ、操作に慣れ親しんでおくようにする。

・展開においては、活動の進捗状況を電子黒板で一覧表示し、各々の表現方法の工夫について共有するようにする。

【本実践によるICT活用のメリット】

・自分が伝えたいものについて、表現方法の選択肢が増える。

・自分の思いをより分かりやすく伝える方法について考えたり、表現する工夫を見出そうとしたりする態度を育成することができる。

・1対1、または一覧による全体との比較を容易に行うことができる。

【活用したソフトや機能】 プレゼンテーションソフト・カメラ機能